

スイッチチェッカー説明書

Rev.3

- スwitchチェッカーはコミュニケーション機器操作スイッチの動作を確認するための機器です。
- 動作確認はブザー音とランプの光で行います。
- スwitchを離したときオンになるよう信号を反転することができます。
- スwitch操作確認用の外部ブザーを接続できます。
- 電池でも AC アダプタでも動作します。



◆ 各部の名称と機能

- パネル



① ② ③ ④

⑤

- 内部



⑥ ⑦

- 付属品



⑧

⑨

⑩

- ① スwitchジャック 操作スイッチを接続します。
- ② ランプ 出力の状態を表示します。出力がオンの時点灯します。
- ③ 出力ジャック パソコン、意思伝達装置などに接続します。
- ④ ブザージャック 付属の外部ブザーを接続します。
- ⑤ AC アダプタジャック 常時使用する場合オプションの AC アダプタを接続します。
- ⑥ 設定スイッチ 動作を設定します。
- ⑦ 電池 単4電池を2本使用します。
- ⑧ ACアダプタ コンセントから電源を供給します。
- ⑨ 外部ブザー スwitch操作確認に使用します。
- ⑩ 接続コード 出力ジャックとパソコン、意思伝達装置などとの間を接続します。

◆ 動作

1. 操作スイッチをオンにすると出力がオンになりランプが点灯しブザーが鳴ります。
2. スイッチを操作していないときは節電状態となります。(電源スイッチはありません)
3. 信号反転設定により、操作スイッチをオフにしたときに出力がオンになるようにできます。
その場合ランプとブザーは出力がオンの時に動作します。
4. 出力オンが約19秒連続した場合(スイッチが押されたままの場合、信号反転時にスイッチを取り外した場合などに起こります)、出力はオフとなりランプとブザーの動作も止まって節電状態となります。

◆ 設定

- 設定スイッチで動作のしかたを設定できます。
- 設定は先のとがった物でスイッチのレバーをスライドさせて行います。



番号	項目	OFF	ON
1	内蔵ブザーの入り切り	内蔵ブザーを鳴らさない	内蔵ブザーを鳴らす
2	ブザーを鳴らす長さ (内蔵／外部共通)	オンの時短く鳴らす	オンの間連続して鳴らす
3	スイッチ信号反転	反転しない スイッチがオンの時出力オン	反転する スイッチがオフの時出力オン
4	フィルタ (ばたつきキャンセラ)	なし スイッチのオンオフをそのまま 出力する	あり ばたつきを抑制する処理を行う

- 4[フィルタ]を ON にすると、スイッチ信号のオフが約0.2秒連続した時点で出力がオフとなり、出力オフ後約0.2秒間はスイッチ信号を受け付けません。これにより、手の震えなどでスイッチ信号が短い間にオンオフしたとき(ばたつき)に機器の誤動作／誤操作が起こるのを抑制します。
ただし、意図して短い間隔でスイッチ操作を行った場合にもばたつきと見なされるため、素早いスイッチ操作ができなくなります。

● 外部ブザーの音量調整

外部ブザーの音量は外部ブザー側面のつまみを小さいドライバーで回して調整してください。時計方向に回すと音量が大きくなります。



◆ 入出力仕様

- 入力 3.5mm ミニジャック、極性あり(外側の電極がマイナス)、接点入力(無電圧)
- 出力 3.5mm ミニジャック、極性なし、フォトモスリレー出力(無電圧)、接点定格 DC30V／0.1A